参考資料2

【変更】取組方針における 概ね5年(R3~R7)で実施する取組(各関係機関)

令和3年2月8日

天塩川上流減災対策協議会

TE	目事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
7	D 777	e Pit	対応	れるようの名を利用していた	762%+001/2	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
1)	<u>ハー</u>	対策の主な取組	-			•				•	
	■ 2	共水を河川内で安全に流す対策									
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	V	・流下能力が不足する美深地区等で河 道掘削、堤防整備、構造物改築等を実施	①流下能力が不足する地区を中心に 河道掘削、堤防整備、構造物改築等を 実施する予定						
	■f	6機管理型ハード対策									
		・堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強		・氾濫リスクの高い区間において、粘り 強い堤防(堤防天端の舗装、堤防法尻 の補強)の整備を実施。	_						
	■i	避難行動、水防活動、排水活動に資す	る基盤等	<u>.</u> の整備							
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	А		①河川情報の発信、伝達の向上を図るため、河川情報提供システムは今後 も改良予定						
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М		①継続した観測機器の運用・保守、必要に応じた設置や移設を実施予定						
		③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 検討	Q	・洪水に備え水防資材の調達を実施 ・水防拠点の整備に向けた設計、地元 調整等を実施	①継続して実施予定						

			1	Т	T	l					旭川開発建設部
頂目	事項	内容	課題の	 R2までの取組状況	 今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
	7.7	774	対応		7,500 407,72	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2)7		水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための	取組			•				
	■情	報伝達、避難計画等に関する事項				ı	T				
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D	(簡易版)作成	①継続した避難勧告型タイムラインの 周知や運用を行い、必要に応じて見直 しを行うなど精度向上を図る						
		②住民一人一人が取る標準的な 防災行動を時系列的に整理したマ イタイムライン作成のサポートを充 実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う		・避難の切迫性が確実に伝わるよう主 文の改良を実施 ・氾濫発生情報発表時の浸水の恐れ がある地域表示を想定最大規模の洪 水を対象とした範囲まで拡大 ・警戒レベルの採用や読み仮名を付け るなど洪水予報文を改良	①情報の明確化を図るため、必要に応 じた洪水予報文の改良を行う予定						
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	К								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	К								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実 施するとともに、隣接市町村を含め た広域避難計画に関する検討を行 う									
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H, I, J	・緊急速報メールによる洪水予報(氾濫危険情報・氾濫発生情報発表時)の 伝達							

								***			旭川開発建設部
項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
			יטון (יא			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2)7		水害に対し、迅速・確実な避難行動									
	■平	時からの住民等への周知・教育・訓	練に関する			ı					
		①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公 表 (多言語化対応含む)	F, J	・天塩川、名寄川、風連別川、剣淵川 の洪水浸水想定区域図等の作成・公 表 ・サンルダム完成を踏まえた見直しを 実施	①必要に応じて見直しを予定						
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G, J	・ハザードマップ等作成のための支援 として浸水想定区域図等のデータや資料を随時提供	①必要に応じて見直しを予定						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G, J		①ハザードマップの活用促進に向けて 事例提供等の支援を実施予定						
		④小中学生を中心とした天塩川の 洪水の特徴を踏まえた防災教育の 実施(防災教育への積極的な関わ り(防災教育素材の共有))	Α								
		⑤関係機関及び、住民等を対象と した災害図上訓練(DIG訓練)等、 水防災に関する訓練・講習会の開 催	A, E, R	・水防研修会を各自治体で実施 ・名寄市内において排水ポンプ車、照 明車及び排水ポンプパッケージを使用 した内水排除訓練を実施							
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意 識啓発のための広報の充実(多言 語化対応含む)	I, J	・カヌーイベントにおいて参加者向けの 広報活動を実施 ・ダム見学会の継続実施 ・地域政策懇談会等においてダムに関 する広報活動を実施 ・消防団水防活動実績のHP公開	①イベント、HP等を活用した広報活動を実施予定						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	G, J		①対象外となっている地区の情報提供 及び確認作業の支援を実施予定 ②検討に際しては支援を実施予定						

	1	+ + + +	課題の		A#=1.5=			進捗状況			旭川開発建設部 その他(実施にあたっての
埧 E	事項	内容	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
3)		・監被害軽減のための的確な水防活									
	■水	防活動の効率化及び水防体制の強化	化に関する								
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0, P	・重要水防箇所等の共同点検を実施	①関係機関と共同点検を実施予定						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	Α	・天塩川流域における自治体及び関係機関を対象とした豪雨災害対策職員研修のサポートを実施(主催の名寄市より依頼)	①豪雨災害対策職員研修などの支援 を実施予定						
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q,U	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において定期的に情報共有を行う	①減災対策協議会等で情報共有を行 う予定						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・減災対策協議会(旧水防連絡協議 会)において周知を図った	①減災対策協議会等で周知する予定						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員 の拡充を図る	R								
	■市	L ĭ町村庁舎や災害拠点病院等の自衛:	水防の推	L 准に関する事項							
		①浸水想定区域内の拠点施設に 対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施		- 浸水想定区域公共施設合成図(水位 観測所、警察、病院、避難所等)を自 治体に提供 ・早期に避難が必要な区域の抽出及 び避難時の課題抽出							
4)	都市機	能や社会経済活動の早期復旧のた	めの取組								
	■汇	濫水の排水、施設運用等に関する取	組								
		①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認	U	・滅災対策部会(旧水防連絡協議会) にて説明を実施	①減災対策協議会等で出動要請方法 等を説明予定						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	Т	・排水ポンプ車及び、排水ポンプパッケージ等災害対策用機械の操作訓練を災害協定業者に対し実施	①操作訓練を実施予定						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	Т	・湛水時間24時間以上となる箇所全 てを抽出し、天塩川上流排水計画ハン ドブック及び天塩川上流域・ポンプ式進 入ルート図(水系全体)作成(R2.3完 成)	各関係機関に提供予定						

Г			課題の		A 40-1 1-3-4-			進捗状況			その他(実施にあたっての
IJ	[目事]	内容	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
1)ハー	対策の主な取組									
	■ 2	共水を河川内で安全に流す対策									
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	>								
	■f	も機管理型ハード対策									
		・堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強	>								
	■ì	避難行動、水防活動、排水活動に資す	る基盤等の	の整備							
		①住民の避難行動を促し、迅速な 水防活動を支援するため、スマート フォンを活用したリアルタイム情報 の提供システム構築	А	スマートフォン等の位置情報機能を活用し、自分のいる場所の「洪水警報の危険度分布」をワンタッチで表示する改善を実施。「危険度分布」における危険度の高まりをプッシュ型で通知するサービスを気象庁と民間の協力事業者で開始。「危険度分布」と浸水想定区域等リスク情報を重ね合わせる改善を実施。TwitterやYouTubeを利用した情報発信の開始。							
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М								
		③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 検討	Q								

-= -	-t	内容	課題の	Dotter of Philip III	^ 45-4-5- 7 - 7 - 7 - 7 - 1			進捗状況			その他(実施にあたっての
坝 日	事項	M 音	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2);		水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための	取組							
		報伝達、避難計画等に関する事項 ①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D								
		②住民一人一人が取る標準的な 防災行動を時系列的に整理したマ イタイムライン作成のサポートを充 実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N	避難の切迫性が確実に伝わる主文への改良や、警戒レベルの追記を行なった。また、大雨特別警報の警報等への切り替えに合わせて洪水予報(臨時)を発表するよう改良を行なった。	必要に応じて改善を進める。						
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	К								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	К								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G, H, K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H, I, J								

			課題の		A 1/2 - 1 - 1 - 2 - 2 - 2			進捗状況			ル川地方気象合 その他(実施にあたっての
損日	事項	内容	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2) 7		水害に対し、迅速・確実な避難行動				*					
	■平	時からの住民等への周知・教育・訓	棟に関する	事項							
		①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家									
		屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公									
		表	F, J								
		(多言語化対応含む)									
		②想定最大規模の洪水に係る浸									
		水想定区域図に基づいたハザード									
		マップの作成と周知(多言語化対応含む)	G, J								
		,61 G)									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザード									
		マッ									
		プの活用促進(多言語化、まるごと	G, J								
		まちごとハザードマップ作成、3Dハ ザードマップの作成)									
		④小中学生を中心とした天塩川の		 関係機関と協力し、水防学習会におい	 関係機関と協力して対応を行なう。						
		洪水の特徴を踏まえた防災教育の		て小学生を対象に講演を実施した。							
		実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	Α								
		グ(防災教育系術の共有//									
		⑤関係機関及び、住民等を対象と			関係機関と協力して対応を行なう。						
		した災害図上訓練(DIG訓練)等、 水防災に関する訓練・講習会の開		練、防災セミナーにおいて講演を実施 した。							
		催	A,E,R								
		⑥住民·観光滞在者等の水防災意		 防災フェア・コミュニティFM・気象庁HP	関係機関しかもして対応を行わる						
		識啓発のための広報の充実(多言		をとおして気象防災普及啓発を進め	対状機関と励力して対応を1]なり。						
		語化対応含む)	I, J	た。また、気象庁HPにおいて防災気象							
			-	情報等の多言語化(14か国語対応)を 実施した。							
		⑦ハザードマップ作製の対象外と									
		なっている地区の把握、対応検討									
			F								

	ir		課題の		A44-4-4-2-4			進捗状況			ル川地方気家合 その他(実施にあたっての
項目項	事 場	内容	対応	R2までの取組状況 	今後5か年の予定 	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
		濫被害軽減のための的確な水防活				•					
		防活動の効率化及び水防体制の強	化に関する	る事項							
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0, P								
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	Α	天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修での講演実施。R1年に上川管内市町村防災担当職員を対象に、R2年に名寄市職員を対象に中小河川の氾濫を想定した気象防災ワークショップを実施。							
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q, U	協議会席上において気象災害事例等 の情報提供を行なった。	引き続き情報提供を行なう。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員 の拡充を図る	R								
	■市	町村庁舎や災害拠点病院等の自衛	水防の推	 進に関する事項							
		①浸水想定区域内の拠点施設に 対する水害リスクを把握し、機能維 持に関する検討を実施	S								
4)都ī	市機	能や社会経済活動の早期復旧のた	めの取組								
		濫水の排水、施設運用等に関する取	双組								
		①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	Т								
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポ ンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、 点検の実施)	Т								

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

上川総合振興局

l,	目事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
"	ㅁᆍᄸ	1 2	対応	R2までの収配仏法	7後3か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
1)		*対策の主な取組									
	■沒	共水を河川内で安全に流す対策				•				•	
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	V	堤防整備、河道掘削を実施	引き続き実施						
	■ 允	 									
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V	堤防の天端舗装を実施	引き続き実施する。						
			V								
	■i	· 避難行動、水防活動、排水活動に資す	トる基盤等	の整備							
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	А								
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М	洪水時の避難勧告等の発令判断に活 用する簡易水位計の設置(R元年度で 完了)							
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討		迅速な水防活動を実施支援するため、 水防資機材・水防拠点の整備	引き続き実施する。						

			課題の					進捗状況			上川総合振興局
項目	事項	内容	財産の対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	その他(実施にあたっての 問題点等)
2)7	大規模	水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための								
		報伝達、避難計画等に関する事項									
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D	・タイムラインを用いた研修や訓練への協力 ・タイムライン試行運用開始	協力依頼等があれば適宜実施する。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	К								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	К								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実 施するとともに、隣接市町村を含め た広域避難計画に関する検討を行う	G, H, K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々メール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H, I, J								

18 F	事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
坝日	争坝	M夻	対応	R2までの収組认沈	ラ彼5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2);		水害に対し、迅速・確実な避難行動									
		時からの住民等への周知・教育・訓練	練に関する		1.2.2	I	ı		T		
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F, J	・温根別川等の想定最大規模の洪水 に係る浸水想定区域図を作成。	未定						
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G, J	・温根別川等の想定最大規模の洪水 に係る浸水想定区域図を関係市町村 へ配布。	未定						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G, J	・温根別川等の想定最大規模の洪水 に係る浸水想定区域図を関係市町村 へ配布。	未定						
		④小中学生を中心とした天塩川の 洪水の特徴を踏まえた防災教育の 実施(防災教育への積極的な関わ り(防災教育素材の共有))	A	・1日防災学校の企画・実施支援(士別市:上士別小学校ほか)	・引き続き、地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象と した災害図上訓練(DIG訓練)等、 水防災に関する訓練・講習会の開 催		・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施 ・避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会の実施 ・市町村が実施する住民を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・引き続き各機関が実施する防災訓練 等へ参加・協力する。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意 識啓発のための広報の充実(多言 語化対応含む)	I, J	・特になし	・関係機関と協力して対応する。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外と なっている地区の把握、対応検討	F	・特になし	未定						

	- 1			T		進捗状況					上川総合振興局
頂	目事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
			対応		/ BCON 07 XC	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
3	洪水氾	濫被害軽減のための的確な水防活	動に関す	る取組							
	■水	防活動の効率化及び水防体制の強	化に関する								
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0, P	・道管埋区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施。	・道管理区間における重要水防箇所等 の点検・見直しを実施する。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組 みを行う	Α	・天塩川治水促進期成会による豪雨災害対策職員研修のサポートを実施。 ・避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会の実施・災害ボランティア組織連携会議の実施を支援・市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援	・引き続き市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援等を実施						
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q, U	協議会において取りまとめた情報の共 有を実施。	協議会において取りまとめた情報の共 有を実施。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員 の拡充を図る	R								
	■市	町村庁舎や災害拠点病院等の自衛	水防の推	進に関する事項							
		①浸水想定区域内の拠点施設に 対する水害リスクを把握し、機能維 持に関する検討を実施	S								
4	都市機	能や社会経済活動の早期復旧のた	めの取組								
		濫水の排水、施設運用等に関する取	文組								
		①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	Т								
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、	Т								

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

北海道警察 旭川方面本部

	目事		内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての
				対応	R2までの4X種1人が	7後3が午の7足	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1			策の主な取組	•								
			kを河川内で安全に流す対策									
			河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 構造物改築	٧								
			戦管理型ハード対策									
		-	堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強	٧								
		■避難	惟行動、水防活動、排水活動に資す	る基盤等の	の整備							
		7	①住民の避難行動を促し、迅速な 水防活動を支援するため、スマート フォンを活用したリアルタイム情報 の提供システム構築	А								
		3	②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 票、CCTVカメラの設置	М								
		フ. (j	③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 食討	Q								

						進捗状況					北海坦言祭 池川万山本部
項目	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定		I				その他(実施にあたっての
			, , , _			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
		水害に対し、迅速・確実な避難行動	のためのエ	双組							
		報伝達、避難計画等に関する事項 ①円滑かつ迅速な避難行動のた									
		の一角が、り近迭な近無打動のだめ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B,C,D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	к								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動 要支援者名簿の作成、個別計画の 作成など)	К								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G, H, K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリア メール、コミュニティーFM等の様々 な情報伝達手段による情報発信を 実施(手段の整備含む)(多言語化 対応含む)	H, I, J								

											北海坦警祭 旭川万面本部
項目事項	a	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
7 0 7 0	R	N T	対応	れるような表情なが	7夜585年077年	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2)大規	莫水害に対し、	迅速・確実な避難行動	かための	取組		<u>'</u>				<u>'</u>	
<u> </u>		等への周知・教育・訓		事項							
	区域図、浸水	見模も含めた浸水想定 シミュレーション、家 監想定区域の作成・公									
	②想定最大规 水想定区域图	ル色の別 見模の洪水に係る浸 間に基づいたハザード と周知(多言語化対	G, J								
	水想定区域図マップの活用促進	規模の洪水に係る浸 別に基づいたハザード 能(多言語化、まるごと ードマップ作成、3Dハ の作成)	G, J								
	洪水の特徴を	中心とした天塩川の 一路まえた防災教育の 育への積極的な関わ 素材の共有))		・小中学生を対象に防災講話を実施。	・小中学生を対象に防災講話を実施予定。						
	した災害図上	なび、住民等を対象と 訓練(DIG訓練)等、 る訓練・講習会の開	A,E,R	・水害が予想される地域の交番連絡協 議会などで注意喚起を行う。	・町内会等に対して防災講話(水害含む)を実施予定。 ・町内会等を対してDIG訓練(水害含む)を実施予定。 ・町内会等に対してDIG訓練(水害含む)を実施予定。 ・町内会等に対して防災訓練(水害含む)を実施予定。						
		滞在者等の水防災意 の広報の充実(多言 よ)		・110番通報受理時における通訳を含めた三者通話システムを活用している。	・広報誌、イベントにおいて引き続き、 啓発活動を実施予定。						
		ップ作製の対象外と 区の把握、対応検討	F								

		and a printer	課題の		A.W I			進捗状況			北海坦警祭 旭川万田本部 その他(実施にあたっての
項目事	垻	内容	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
		濫被害軽減のための的確な水防活									
	-	防活動の効率化及び水防体制の強	化に関する								
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0 、 P	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施。	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	А	・各自治体等が実施する防災訓練への参加。	・各自治体等が実施する防災訓練に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q, U	共有、連絡体制の保持した。	・警察署毎に市町村防災担当者と譲歩 共有、連絡体制の保持する予定。 ・本協議会で関係者との情報交換を実 施予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員 の拡充を図る	R								
	由	 町村庁舎や災害拠点病院等の自衛:	水味の堆	 選に関する東頂							
		①浸水想定区域内の拠点施設に 対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	近15月90年4月 -							
4) 都市	一楼	能や社会経済活動の早期復旧のた	めの取組								
		監水の排水、施設運用等に関する取									
	■氾	①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	Т								
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、 点検の実施)	Т								10

TE	目事	9 内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての
-70	D 7	7 M	対応	R2& Cの収集である。	7夜0//1400 / 足	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
1)		ド対策の主な取組	•			•					
		洪水を河川内で安全に流す対策									
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	>								
		危機管理型ハード対策	1								
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	٧								
		避難行動、水防活動、排水活動に資す	する基盤等の								
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築									
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討									

						陸上自衛隊 第二師団					
項目	事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
			対応		7 KON-+07 F.C	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2);		水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための	取組							
	■情	報伝達、避難計画等に関する事項									
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D								
		②住民一人一人が取る標準的な 防災行動を時系列的に整理したマ イタイムライン作成のサポートを充 実させる	B,								
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	К								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	К								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実 施するとともに、隣接市町村を含め た広域避難計画に関する検討を行 う									
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリア メール、コミュニティーFM等の様々 な情報伝達手段による情報発信を 実施(手段の整備含む)(多言語化 対応含む)	H, I, J								

			課題の		A 40-1 1-2-1-			進捗状況			陸上自衛隊 第二師団 その他(実施にあたっての
項目	事項	内容	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2);		水害に対し、迅速・確実な避難行動				•					
		時からの住民等への周知・教育・訓練	東に関する	事項							
		①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公 表	F, J								
		(多言語化対応含む)									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G, J								
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G, J								
		④小中学生を中心とした天塩川の 洪水の特徴を踏まえた防災教育の 実施(防災教育への積極的な関わ り(防災教育素材の共有))	Α	・自衛隊の災害派遣・装備品に関する 事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品に関する 事項について情報共有を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象と した災害図上訓練(DIG訓練)等、 水防災に関する訓練・講習会の開 催	A, E, R	・各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施した。	①各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意 識啓発のための広報の充実(多言 語化対応含む)	I, J	・自衛隊の災害派遣・装備品に関する 事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品に関する 事項について情報共有を実施予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外と なっている地区の把握、対応検討	F								

话日本话	内容	課題の	D2主での取組状況	会後5か年の子中			進捗状況			その他(実施にあたっての
項目事項	内容	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定 	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
	・監被害軽減のための的確な水防活									
■水	防活動の効率化及び水防体制の強	化に関する	る事項 							
	①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0 、 P								
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	Α	・市町村が実施する防災訓練に参加した。	①市町村が実施する防災訓練に参加 予定。						
	③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q, U	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制の保持をした。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	①警察署毎に市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制の保持をする予定。 ②本協議会で関係者との情報交換を実施予定。						
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
	⑤広報誌やHP等により、水防団員 の拡充を図る	R								
■市	ı i町村庁舎や災害拠点病院等の自衛	水防の推	 進に関する事項							
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
	能や社会経済活動の早期復旧のた									
■氾	と監水の排水、施設運用等に関する取りである。	組			ı			ı		
	①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認	U	・本協議会で情報共有を実施。	・本協議会で情報共有を実施予定。						
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	Т	・関係機関が実施する訓練等に参加。	・関係機関が実施する訓練等に参加予 定。						
	③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、 点検の実施)	Т								

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

士別市

TE	目事!	頁 内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況				その他(実施にあたっての	
			対応	R2& Cの収組が必	7夜08:400 7足	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
1	<u>ハー</u>	が対策の主な取組				•					
	■	共水を河川内で安全に流す対策									
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	>								
	= 1	危機管理型ハード対策									
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	٧								
	■;	壁難行動、水防活動、排水活動に資す	る基盤等の								
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築									
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М								
		③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 検討									

7E 5	事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
惧 :	争坝	内容	対応	R2までの取組状況	ラ彼5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2)		水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための	取組							
		報伝達、避難計画等に関する事項									
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D	・避難勧告等判断・伝達マニュアルに ついてはH27年4月に作成済み ・R2年3月に修正をし、災害対策本部 訓練で使用 ・水害対策タイムラインをH30年7月に 策定し、逐次見直しを実施	・毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練等を実施・判断となる水位計等の追加に伴う見直しを実施						
		②住民一人一人が取る標準的な 防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充 実させる	B'	_	・自治会等に対する出前講座を通じてマイタイムラインの必要性について普及を図る。 合わせて作成スケジュールを作成						
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)		・地域防災計画に記載されている17施設のうち11カ所の施設について、避難確保計画策定							
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)		・避難行動要支援者名簿は作成済、毎年更新 ・個別計画はR2から地区作成	・引き続き個別計画の策定を推進 ・総合防災訓練で検証						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う		・近隣市町を含めた広域避難の必要性 について担当者間での認識統一を 図った。	・近隣市町との意見交換を実施 その後、具体的な広報避難について 検討						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリア メール、コミュニティーFM等の様々 な情報伝達手段による情報発信を 実施(手段の整備含む)(多言語化 対応含む)		・「しべつ暮らしナビ」(防災)を整備した。	・R3年度末に防災行政無線(戸別受信機)の更新 じ後発信内容も含めて検討						

, s	事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定		_	進捗状況	_		その他(実施にあたっての
児	日季垻	M 春	対応	R2までの収組认沈	ラ彼5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2)		水害に対し、迅速・確実な避難行動									
		時からの住民等への周知・教育・訓練 ①想定最大規模も含めた浸水想定		5事項 							
		区域図、浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公 表									
		(多言語化対応含む) ②想定最大規模の洪水に係る浸		・H31年4月に想定最大規模のハザー	・毎年器材事項を確認し、必要に応じ						
		②	G, J	ドマップを作成し全戸に配布した。 (ホームページにも掲載)	て更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップの成のの作成)	G, J	・公共施設の在り方の見直しに伴い避難所の改廃を検討した。	・作成することによる効果と作成費用を 検討し、まるごとまちごとハザードマッ プ等の作成を決定する。						
		④小中学生を中心とした天塩川の 洪水の特徴を踏まえた防災教育の 実施(防災教育への積極的な関わ り(防災教育素材の共有))	Α	・1日防災学校の参加促進 ・小学生の校外授業における出前講座 の実施	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を行う。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A, E, R	・毎年テーマを設定した総合防災訓練を実施	・住民参加型の避難訓練を重視して継続的に実施						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意 識啓発のための広報の充実(多言 語化対応含む)	I, J	・夏期の大雨などに備えて広報誌、 SNSを活用して注意喚起	・引き続き広報誌、SNSに掲載						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握	・対象外となっている地区の水害リスクを把握し、避難判断マニュアルへの反映						

	- 15 × 15 × 15 × 15 × 15 × 15 × 15 × 15	rts size	課題の		人後5七左のそ ウ	進捗状況 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年月					士別市 その他(実施にあたっての
項目	争垻	内容	対応	R2までの取組状況 	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
3)%		2濫被害軽減のための的確な水防活									
	■水	防活動の効率化及び水防体制の強化	化に関する								
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0 、 P	毎年関係機関と共同で河川の重要水 防箇所等の点検を実施	・毎年関係機関と共同で重要水防箇所 等の点検を実施						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や豪雨災害対策職員研修に参加した。	・防災担当者を対象とする研修等に継続して参加						
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q,U	・滅災対策部会等で情報共有を図った。	・滅災対策部会等で情報共有を図る。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る		・水防団の募集等を主に行っている消防署においてポスター掲示などの啓発を行った。	・引き続き消防署において啓発を行う。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・同上	・同上						
	= ±	<u> </u> 町村庁舎や災害拠点病院等の自衛	水性の性	 							
		①浸水想定の場所に等の目倒。 ①浸水想定区域内の拠点施設に 対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施		当に関する事項・新庁舎の非常用電源を屋上に設置し、浸水時における電力を確保した。	・拠点施設の浸水による施設機能の不全箇所及び機能回復日程を確認						
4)#	双击地	│ 機能や社会経済活動の早期復旧のた	かの野組								
	_	になれる。 と監水の排水、施設運用等に関する取									
		①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認		・排水ポンプ車の要請方法を確認した。	・減災対策部会などで、災害対策車の 要請方法を確認						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	т	・市内業者に管理委託をしている排水 ポンプの職員操作訓練は未実施	・排水ポンプの職員操作訓練を実施						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポ ンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、 点検の実施)	Т	・内水常襲箇所を把握し可搬型排水ポ ンプを購入した。	・内水被害常襲箇所の災害発生前の 浸水対策及び排水作業準備計画の確認						0.4

, E	目事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度					その他(実施にあたっての
			対応	R2までの収配仏沈	ラ後3か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1	ハート	対策の主な取組				•					
	■ 2	共水を河川内で安全に流す対策									
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	٧								
	■f	6機管理型ハード対策				•					
		・堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強	٧								
	■ i	壁難行動、水防活動、排水活動に資す	る基盤等の								
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築									
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М								
		③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 検討	Q								

- - -		+ 🖶	課題の	Dotter of Ph 40 Jb VD	^ 45+ 5 8 9			進捗状況			その他(実施にあたっての
坝 E	事項	内容	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2);		水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための	取組							
		報伝達、避難計画等に関する事項									
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D		①必要に応じて見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①出前講座や防災セミナーなどの機会を通じてマイタイムライン作成の必要性などを周知する。 ②町内会(自主防災組織)を通じて作成サポートできるような計画策定に向けて検討を進める。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	К	要配慮者利用施設において地域防災計画に記載。 ・避難確保計画の策定に向けて、近隣自治体の施設も含めた研修会を実施。	①R3年度までに、地域防災計画に記載された全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定をめざす。 ②避難確保計画の策定にあたり、継続した支援を実施する予定。 ③要配慮者施設においての避難訓練の実施について支援を実施予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作 成及び避難訓練の実施(避難行動 要支援者名簿の作成、個別計画の 作成など)	К	・避難行動要支援者名簿の平常時の 活用について、同意のある方の名簿を	(高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、福祉部局等の関係者との調整を実施予定。 避難計画、個別計画の作成後、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)・避難行動要支援者名簿を平常時に						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実 施するとともに、隣接市町村を含め た広域避難計画に関する検討を行 う		協議を実施。	①有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。 ②その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会での議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリア メール、コミュニティーFM等の様々 な情報伝達手段による情報発信を 実施(手段の整備含む)(多言語化 対応含む)	H, I, J	・携帯電話を保有していない方や、携帯電話にメール機能を有していないにも災害時の緊急情報を提供するため、自宅の電話・FAX番号を登録し、一斉配信できるシステムを導入。							

7E C	10 12	中 姬	課題の	DO士での開始出				進捗状況	<u> </u>		その他(実施にあたっての
県日	事項	内容	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定 	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
2)7	_	水害に対し、迅速・確実な避難行動				l	l				
		時からの住民等への周知・教育・訓練	東に関する	事項							
		①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公 表	F, J								
		(多言語化対応含む) ②想定最大規模の洪水に係る浸		┃ ・想定最大規模のハザードマップを作	 ①新たな浸水想定の公表により、R4年						
		②応定版入規模の法がに係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G, J	が認定版人規模のバゲートマップを作成し、H30年8月に住民に配布。 (ホームページにも掲載)	(□新たな浸水想定の公表により、R4年 度に更新予定。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G, J	事業を実施(標示避難所及び避難場 所に看板を設置するとともに、市内幹	①R3年度以降に、市内幹線道路等の 案内看板の増設等を検討する ②3Dハザードマップを作成について検 討を進める。						
		④小中学生を中心とした天塩川の 洪水の特徴を踏まえた防災教育の 実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・関係機関と連携し、出前講座を実施。 (H30年度) ・高等学校での出前講座を実施。 (R1年度)	①関係機関と連携し、計画的に出前講 座を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象と した災害図上訓練(DIG訓練)等、 水防災に関する訓練・講習会の開 催	A, E, R	・関係機関と連携し、市民を対象とした防災セミナー及び防災訓練を実施。 ・関係機関と連携し、職員を対象とした 災害図上訓練を実施。	②防災セミナーを開催予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意 識啓発のための広報の充実(多言 語化対応含む)	I, J	広報誌、ホームページに掲載。	①広報誌、ホームページに掲載予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外と なっている地区の把握、対応検討		・対象外となっている地区を把握した。	 ①ハザードマップを更新する予定。 						
			F								

項目	車で	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
块口	予块	M a	対応	R2までの収配人が	7後3が年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
		濫被害軽減のための的確な水防活									
		防活動の効率化及び水防体制の強	化に関する								
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0 、 P	*毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施。	①毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A		①天塩川治水促進期成会での豪雨災 害対策職員研修を実施・参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q, U	・天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施。 ・減災対策協議会等で情報共有を実施。 ・減災対策協議会等で情報共有を実施。 ・道北9市の担当者会議にて情報を共	①天塩川流域圏会議(防災WG)で取り まとめた情報を共有予定。 ②減災対策協議会等での情報共有を 予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力 団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員 の拡充を図る	R	・広報誌やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
-	■市	 町村庁舎や災害拠点病院等の自衛	水防の推	L 准に関する事項							
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施			①重要施設(市立総合病院)の機能維持を検討し、具体な対策を講じる予定。						
4) #R	古地	能や社会経済活動の早期復旧のた	めの歌組								
		艦水の排水、施設運用等に関する取									
		①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認		・減災対策協議会等で、排水ポンプ車の要請方法を確認。	①滅災対策協議会等で、排水ポンプ車 の要請方法等を確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	т	・河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンによる操作訓練を実施。	①関係機関と連携し、河川管理者所有の排水ポンによる操作訓練を実施予定。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、 点検の実施)	т		①内水常襲箇所の状況把握を実施予 定。						

Ť	はある。 はあれる。 はない。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はないる。 はない。 はないる。 はない。 はないる。 もないる。 もないる。 もないる。 もないる。 もないる。 もないる。 もない。 もないる。 もないる。 もないる。 もない。 もない。 もない。 もない。 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 もな。 もな									7 0 M (m thu - th + 0	
項	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	その他(実施にあたっての 問題点等)
1)	ハード	対策の主な取組	!			<u> </u>	I.				
	■決	水を河川内で安全に流す対策									
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	>								
	■危	・ 機管理型ハード対策	•			•	•				
		・堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強	٧								
	■追	⊥ 聲難行動、水防活動、排水活動に資す	る基盤等の	 の整備							
		①住民の避難行動を促し、迅速な 水防活動を支援するため、スマート フォンを活用したリアルタイム情報 の提供システム構築									
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М								
		③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 検討									

-= ,	**	÷ (†)	課題の	Dotter of Ph 40 Jb VD	^ 45+ 5 8 9	進捗状況 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年					その他(実施にあたっての
児	事項	内容	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2)	大規模	水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための	取組							
		報伝達、避難計画等に関する事項									
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う		避難勧告型タイムラインについてはR2 年に作成済み	河川管理者と連携を図り、タイムライン を検証していく。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'		住民一人一人が取る防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成の意識向上のため、他市町村の取組を参考に実施						
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	K	ドマップ浸水想定区域内の要配慮者利	(避難確保計画策定の支援を実施す						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	К		高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施し、その後は避難計画を作成し、避難訓練等を検討						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実 施するとともに、隣接市町村を含め た広域避難計画に関する検討を行 う			有効な広域避難について近隣自治体 と意見交換をし、具体的な広域避難に ついて検討する予定。(検討方法、手 法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリア メール、コミュニティーFM等の様々 な情報伝達手段による情報発信を 実施(手段の整備含む)(多言語化 対応含む)		・住民に対し防災情報ラジオの普及に 向けたPRを広報紙、HP、を用いて実 施。 ・災害等の気象情報を防災無線で全町 民に発信した。	情報発信をを実施。						

項目	1	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況	<u> </u>		その他(実施にあたっての
- 現日	争垻	/A T	対応	R2までの収配认近	ラ後3か年のア足	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2) ブ		水害に対し、迅速・確実な避難行動									
		時からの住民等への周知・教育・訓経の	東に関する	\$事項 							
		①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公 表	F, J								
		(多言語化対応含む)		ᅰᅌᇦᆂᄱᄷᇫᆢᄯ <u>ᆙᄀᆢᆔᄼ</u>	左左司撃中央と攻到し、火悪に広じて						
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G, J	想定最大規模のハザードマップを作成 し、R2年度に住民に配布予定。	毎年記載内容を確認し、必要に応して 更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの成、3Dハザードマップの作成)	G, J		想定最大規模ハザードマップ作成された ことから、まるごとまちごとハザードマッ プ導入の可否について検討。						
		④小中学生を中心とした天塩川の 洪水の特徴を踏まえた防災教育の 実施(防災教育への積極的な関わ り(防災教育素材の共有))		関係機関と連携し、小中学生を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育及び、避難訓練について防災教育の素材等を学校に説明	関係機関と連携し、小中学生を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育及び、避難訓練について、防災教育の素材等を学校に説明をし実施を検討						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIC訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A, E, R	 関係機関と連携し、水防災に関する訓練・講習会実施や町補助制度による開催の呼びかけ							
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意 識啓発のための広報の充実(多言 語化対応含む)	I, J	広報誌、ホームページに掲載した。	広報誌、ホームページに掲載予定						
		⑦ハザードマップ作製の対象外と なっている地区の把握、対応検討		対象外となっている地区を把握し一部 R2年度作成に反映した。	今後も、必要に応じハザードマップの 更新を検討						
			F								

海口車位	内容	課題の	D2主での取組出口	会後5 か左の圣堂			進捗状況			その他(実施にあたっての
項目事項	전	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
	D濫被害軽減のための的確な水防活									
■ 7	K防活動の効率化及び水防体制の強	化に関する								
	①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0, P		引続き、河川管理部局が出水期前に 水害リスクの高い箇所の点検や消防 での水利点検を実施						
	②市町村防災担当職員を対象とす る防災対応力の向上を図る取り組 みを行う	A	水防連絡協議会や、治水促進期成会 による豪雨災害対策職員研修に参加 し、防災対応力向上を図った	引続き、減災対策協議会や、治水促進 期成会による豪雨災害対策職員研修 に参加し、防災対応力向上を図る						
	③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q,U	・水防連絡協議会で取りまとめた情報 の共有を実施	引続き、減災対策協議会で取りまとめ た情報の共有を実施						
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	広報誌やホームページ等で水防協力 団体の募集を実施	・引き続き、広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。						
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	広報誌やホームページ等で水防協力 団体の募集を実施	・引き続き、広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。						
■ #	」 5町村庁舎や災害拠点病院等の自衛	水防の推	l 准に関する事項							
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施		にに関うの事が、 R2年度ハザードマップの更新を踏まえ、今後は拠点施設のリスクを把握し 機能維持の検討する。	ハザードマップの更新を踏まえ、拠点 施設のリスクを把握し機能維持の検討						
4) 都市村	機能や社会経済活動の早期復旧のた	めの取組								
	己濫水の排水、施設運用等に関する取									
	①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認	U	水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行った	引き続き水防連絡協議会や研修等に おいて確認・共有を行う						
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	т		名寄河川事務所等と連携した内水排 水訓練を検討						
	③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポ ンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、 点検の実施)	т	7月〜9月の台風時期に、発電機、水中ポンプ、ホースをリース会社から借り上げる。(過去の大雨被害状況から14組リース)	・7月~9月の台風時期に、発電機、水中ポンプ、ホースをリース会社から借り上げる。(過去の大雨被害状況から14組リース) ・効果的な排水を行う為の検討を実施。						

TE	目事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度					その他(実施にあたっての
			対応	R2までの収配仏沈	→後3か平の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1	ハート	対策の主な取組									
	■ž	供水を河川内で安全に流す対策									
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	٧								
	■f	色機管理型ハード対策				•					
		・堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強	٧								
	■ i	壁難行動、水防活動、排水活動に資す	る基盤等の								
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築									
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М								
		③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 検討	Q								

TE S	事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定		_	進捗状況	_	_	その他(実施にあたっての
Ų.	争坝	内容	対応	R2までの取組状況	「一 学後5か年の予定 	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2):	大規模	水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための	取組							
		報伝達、避難計画等に関する事項									
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D	令和元年度に作成済み。	①R3年度以降(必要に応じて)に見直 しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含 め、訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R3年度から自治会や高齢者サロン 等を対象に作成サポートを実施予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)		・洪水ハザードマップの更新を行い、避難場所等の見直しを行うとともに、必要 性のでに近隣市町村と具体的な協議を実施した。	避難確保計画策定の支援を実施す						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	К	・対象外となっている地区を把握した。	①避難行動要支援者名簿の有効活用 や高齢者に向けた避難訓練を実施予 定。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実 施するとともに、隣接市町村を含め た広域避難計画に関する検討を行 う		・近隣市町村と応援等に関する協定を締結した。	①R3年度は有効な広域避難について、近隣自治体と意見交換を実施予定。 ②その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリア メール、コミュニティーFM等の様々 な情報伝達手段による情報発信を 実施(手段の整備含む)(多言語化 対応含む)	H, I, J	・デジタル式の防災無線を整備した。	①SNSを活用した情報発信を実施予 定。 ②多言語化対応を検討予定。						

_						海热 中海					判漏 判
項日	事項	内容	課題の	R2までの取組状況	 今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
7.1	77	r r m	対応	TILES CONTAINE VIDE	7,80%,407,72	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2) ブ	規模	水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための	取組							
		時からの住民等への周知・教育・訓		事項							
		①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公 表 (多言語化対応含む)									
		(夕声品に対応も名) ②想定最大規模の洪水に係る浸水規定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G, J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、令和3年3月に住民に配布した。 (ホームページにも掲載)	①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハ	G, J		①R3年度以降、ハザードマップの説明 会を実施予定。						
		④小中学生を中心とした天塩川の 洪水の特徴を踏まえた防災教育の 実施(防災教育への積極的な関わ り(防災教育素材の共有))	А	一日防災学校を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R3年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材を教育委員会に提供、説明を予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象と した災害図上訓練(DIG訓練)等、 水防災に関する訓練・講習会の開 催	A, E, R	名寄河川事務所等が連携し、水防研	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②防災セミナーを開催予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意 識啓発のための広報の充実(多言 語化対応含む)	I, J	・広報紙、ホームページに掲載した。	①広報紙、ホームページに掲載予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外と なっている地区の把握、対応検討	F		①R3年度以降、ハザードマップの説明 会を実施予定。						

		ı		T		進捗状況			到淵町		
項	事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定		T		1	T	その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	问題点寸/
3)		2.濫被害軽減のための的確な水防活									
	■水	防活動の効率化及び水防体制の強化	化に関する								
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0, P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水 防箇所等の共同点検を実施した。	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防(消防) 団員等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川上流減災対策協議会や関係機関の研修会に参加した。	①天塩川上流減災対策協議会での豪 雨災害対策職員研修に参加予定。 ②関係機関の研修会に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q,U	・天塩川上流減災対策協議会で取りまとめた情報の共有を実施した。	①天塩川上流減災対策協議会で取り まとめた情報を共有予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報紙やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報紙やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員 の拡充を図る	R	 ・広報紙やホームページ、ポスターなどで水防(消防)団員を募集。 	①広報紙やホームページ、ポスター等で水防(消防)団員を募集予定。						
	■市	 町村庁舎や災害拠点病院等の自衛	水防の推	 進に関する事項							
		①浸水想定区域内の拠点施設に 対する水害リスクを把握し、機能維 持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、 機能維持の検討を実施した。	①令和2年度に更新した洪水ハザード マップを活用し、重要公共施設の機能 維持に向けた具体的な対策を検討予 定。						
4)	都市機	能や社会経済活動の早期復旧のた	めの取組								
		濫水の排水、施設運用等に関する取									
		①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認		・水防連絡協議会や研修会等に参加 し、出動要請方法等に関する確認を実 施。	①水防連絡協議会や研修会等で、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	Т	・排水ポンプ車等による操作訓練を実施。	①河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプ車による操作訓練を実施予定。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、 点検の実施)	Т	・内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所を選定した。							

TE	目事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和				その他(実施にあたっての	
			対応	R2までの収配化が	7後3が午のアル	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1	ハート	対策の主な取組				•					
	■ 2	共水を河川内で安全に流す対策									
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	٧								
	■f	6機管理型ハード対策				•					
		・堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強	٧								
	■i	壁難行動、水防活動、排水活動に資す	る基盤等の								
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築									
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М								
		③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 検討	Q								

TE 1	事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
人	= 李坝	内容	対応	R2までの収組认近	ラ後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2)		水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための	取組							
		報伝達、避難計画等に関する事項 ①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D	・避難勧告型タイムラインについてはH 29年4月に作成済み。 H29年10月などに訓練を実施。	①R3年度(必要に応じて)に見直しを 実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含 め、訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R4~5年度はモデル地区を決定し 先行的なタイムライン作成のサポート を実施予定。 ②R6年度以降は計画に基づきサポートを地区実施予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	К	・想定最大規模の浸水想定区域内の 要配慮者利用施設においてR3年度に 地域防災計画に記載予定。	R3年度中に全ての要配慮者利用施設 において避難確保計画策定予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	К	_	①R3年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ②R4年度以降は、避難計画を作成し、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う		・近隣市町村と応援等に関する検討の実績はなし。	R3年度以降、近隣市町村と応援等に 関する検討開始予定。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H, I, J	・ホームページ、ツイッター、地デジ広 報を整備した。	情報伝達手段の維持・向上のための 情報収集の実施						

75	内域	課題の	D2主での開始性に	☆※5か年の至中			進捗状況			その他(実施にあたっての
垻	M T	対応	RZまでの収組认近	ラ後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
			5争項 							
[]	区域図、浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公 表									
				左左司						
7	水想定区域図に基づいたハザード マップの作成と周知(多言語化対	G, J								
7	水想定区域図に基づいたハザード		・まるごとまちごとハザードマップの作 成を検討。	引き続きR3年度はまるごとまちごとハ ザードマップについて検討継続。						
7	まちごとハザードマップ作成、3Dハ	G, J								
7	洪水の特徴を踏まえた防災教育の 実施(防災教育への積極的な関わ	А	・こども園と連携し、避難訓練時に防災 関連の注意喚起を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R3年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材や資料を教育委員会に提供予定。						
Į,	した災害図上訓練(DIG訓練)等、 水防災に関する訓練・講習会の開	A, E, R	・関係機関と連携し、防災講話を実施 した。(対象は職員のみ)	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②防災講話を開催予定。 ③水害避難訓練を開催予定。						
1	識啓発のための広報の充実(多言	I, J	・役場内、消防署にポスターを掲示した。	R3年度以降、ポスター以外にも広報 誌、ホームページで広報予定。						
		F								
l	平 []	模水害に対し、迅速・確実な避難行動 平時からの住民等への周知・教育・訓 ①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家	模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための 中時からの住民等への周知・教育・訓練に関する ①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む) ②想定足域域のに基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化、まるごとまちごとハガードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハブードマップの活用に変した下塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育への共産の共産の共産が関わり(防災教育本の共有)) ④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を育るの共産が関わり(防災教育本の共有)) ④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育本の共有)) ④小中学生を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等の大助災を育る訓練・講習会の開催 ⑥住民・観光滞在者等の水防災意識化、対応検討	横水書に対し、迅速・確実な避難行動のための取組 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 「①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公 表 (多言語化対応含む) ②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む) ③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップを修正し、R3年3月に住民に配布予定。 G、J ・サンルダム供用開始に伴いハザードマップを修正し、R3年3月に住民に配布予定。 G、J ・するごとまちごとハザードマップの作成を検討。 ③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップの作成、3Dハザードマップの作成、3Dハザードマップの作成、3Dハザードマップの作成の決水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育本材の共有)) ④小中学生を中心とした天塩川の決水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育本材を含む) ⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催 ・関係機関と連携し、防災講話を実施した。(対象は職員のみ) A、E、R ・関係機関と連携し、防災講話を実施した。(対象は職員のみ) ・現行(H29年改訂)のハザードマップから、開発局作成の「浸水想定図」と北海道作成の「浸水想定図」と北海道作成の「浸水想定図」とれることのは明確により、いわゆる「空白のデータの併用により、いわゆる「空白のデータの併用により、いわゆる「空白のデータの併用により、いわゆる「空白のデータの併用により、いわゆる「空白	大きに対し、迅速・確実な運難行動のための取組 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 「想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家 医倒取等の実施(防炎教育・記水で係る浸水想定区域図に差がたんがザードマップの作成と周知(多言語化対に含む) ②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップを修正し、R3年3月に住民に配更新を検討する。 「サンルダム供用開始に伴いハザード毎年記載内容を確認し、必要に応じて不少プを修正し、R3年3月に住民に配更新を検討する。 「まるごとまちごとハザードマップの作成と周知(多言語化対に含む)	「根本書に対し、迅速・確実な避難行動の上めの取組	大学に対し、迅速・確実な登職行動のための取組	(日本) (日本)	(本書に対し、迅速・確実な温騰行助の上めの取組	(本語に対し、迅速・破壊が連維性をのための取名

_											下川町
頂目	事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
	1 7 %	774	対応	THE CONTRACTOR	7800 -0772	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
3):		2濫被害軽減のための的確な水防活									
	■水	防活動の効率化及び水防体制の強	化に関する								
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0, P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水 防箇所等の共同点検を実施した。	毎年出水期前に河川管理者と重要水 防箇所等の共同点検を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	Α	・天塩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	天塩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q, U	・天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	①天塩川流域圏会議(防災WG)で取り まとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予 定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やポスターなどで募集。	広報誌やホームページ等で水防協力 団体の募集を依頼予定。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報誌やポスターなどで募集。	広報誌やホームページ等で水防協力 団体の募集を依頼予定。						
	= #	L 「町村庁舎や災害拠点病院等の自衛」	水陆の堆	 准に関する事項							
		①浸水想定区域内の拠点施設に 対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S		重要施設(役場庁舎)の機能維持を検討し、対応策を協議予定。						
4)	- 4	 能や社会経済活動の早期復旧のた	よの Three								
4)		になれる経済活動の手動復日のた に に に と に と に と に と に と に と に り に り に り									
		①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の 要請方法を確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	Т	・河川管理者所有の排水ポンプによる 操作訓練未実施。	関係者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、 点検の実施)	Т	・大雨後の出水場所確認などにより、 内水常襲箇所を把握した。	①R3年度に排水作業準備計画について検討予定。 ②内水箇所の状況把握を実施予定。 ③町所有の排水ポンプの操作訓練を 実施予定。						

		マースルッツなん(ス塩川工)	課題の				進捗状況 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年				その他(実施にあたっての
項	事項	[内容	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1)	ハード	対策の主な取組				•					
	■決	水を河川内で安全に流す対策									
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	٧								
	■危	機管理型ハード対策									
		・堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強	٧								
	■過	軽難行動、水防活動、排水活動に資す	る基盤等の	 の整備							
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築									
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М								
		③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 検討									

TE .	■事項		課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
人	日学児	M 音	対応	R2までの収組认沈	ラ後5か年のア足	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2)		水害に対し、迅速・確実な避難行動	のための	取組							
		報伝達、避難計画等に関する事項 ①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D	・避難勧告型タイムラインについてはH 28年に作成済み。 ・毎年、防災訓練を実施。	①必要に応じて見直しを実施予定。 ②毎年、防災訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な 防災行動を時系列的に整理したマ イタイムライン作成のサポートを充 実させる	В'	-	①R3年度は住民による作成サポート計画を立案予定。 ②R3年度は先行事例として●●地区を対象に作成サポートを実施予定。 ③R4年度以降は計画に基づきサポートを地区実施予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	К	・想定最大規模の浸水想定区域内の 要配慮者利用施設において、今後地 域防災計画に記載が必要な施設を確 認した。 ・(地域防災計画の記載前ではあるが) 一部の施設では、避難確保計画策定、 避難訓練を実施した。	①R3年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動 成及び避難訓練の実施(避難行動 要支援者名簿の作成、個別計画の 作成など)	К	-	①R3年度は高齢者の確実な避難計 画作成のため、有効な手段の検討、関 係者との調整を実施予定。 ②R4年度以降は、避難計画を作成 し、避難訓練を実施予定。(必要に応じ て更新予定)						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う		・「かみかわの絆19」〜上川管内町村 広域防災に関する決議〜を締結済み (H26.2)	・「かみかわの絆19」〜上川管内町村 広域防災に関する決議〜を締結済み (H26.2)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリア メール、コミュニティーFM等の様々 な情報伝達手段による情報発信を 実施(手段の整備含む)(多言語化 対応含む)	H, I, J	・緊急エリアメールを活用している。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内容をスマホのアプリで視聴できるように整備した。	・緊急エリアメールを活用している。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内 容をスマホのアプリで視聴できるように 整備した。						

項目	車で	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
坝日	争坝	M 音	対応	R2までの収組认沈	ラ俊5か年のア正	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2)大		水害に対し、迅速・確実な避難行動							•	•	
		時からの住民等への周知・教育・訓練	東に関する	事項							
		①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公 表 (多言語化対応含む)	F, J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸		 ・相定最大規模のハザードマップを作	 ①毎年記載内容を確認し、必要に応じ						
		水想定区域図に基づいたハザード マップの作成と周知(多言語化対 応含む)	G, J	成し、H30年4月に関係機関及び町民の使用する施設に掲示した。 (ホームページにも掲載)							
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマッ		・まるごとまちごとハザードマップの作 成を検討。	・まるごとまちごとハザードマップの作 成を検討。						
		、プの活用促進(多言語化、まるごと まちごとハザードマップ作成、3Dハ ザードマップの作成)	G, J								
		④小中学生を中心とした天塩川の 洪水の特徴を踏まえた防災教育の 実施(防災教育への積極的な関わ り(防災教育素材の共有))	A	・水防訓練を小学校で実施	・水防訓練を小学校で行うよう検討。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A, E, R	・毎年、自治会単位で自主防災組織と 町で協力して防災訓練を開催した。	・毎年、計画的に自治会単位で自主防 災組織と町で協力して防災訓練を開催 する予定						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意 識啓発のための広報の充実(多言 語化対応含む)	I, J	・ホームページや広報誌による広報を実施。	・ホームページや広報誌による広報を実施予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	①対象外となっている地区の住民を対象に説明会を実施予定。 ②氾濫計算を実施し、ハザードマップを更新する予定。						

項目事	T 12	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
块口 字	坝	/YI	対応	R2までの収配仏沈	7後3が年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
_		濫被害軽減のための的確な水防活									
		防活動の効率化及び水防体制の強	化に関する				1			ı	
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0, P	毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施。	毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川水系天塩川総合水防演習への参加・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修への参加	・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修への参加予定						
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q,U	・減災対策部会等で情報共有を実施した。	・滅災対策部会等で情報共有を予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載。	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載する。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員 の拡充を図る	R	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載 する						
	∎ ata F	 町村庁舎や災害拠点病院等の自衛:	水陆の堆	と 後に関する車項							
	(1月7月1日 (大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	S	(国内の事項) ・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	図情報等を踏まえ、該当施設及び水害						
4)都市	万機	能や社会経済活動の早期復旧のた	めの取組								
		監水の排水、施設運用等に関する取									
		①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等に参加 し、方法等に関する確認を実施。	・水防連絡協議会や研修会等に参加 し、方法等に関する確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	т	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練を実施。	・名寄河川事務所との連携により排水 ポンプユニットを用いた訓練実施を検 討						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、 点検の実施)	т	計画(案)の検討と連携し、内水被害常	・旭川開建で行う緊急排水計画(案)の 検討と連携し、内水被害常襲箇所の把 握、排水ポンプ設置箇所検討を実施予 定。						

~	100.10	0十八天心 7 の水心 (人温川工)	7167								日級「刑工	
項	目事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての	
~R	□ ₹7	Y P	対応	ことのくジルを直びが	7800-700 12	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)	
1)	ハート	対策の主な取組			•							
	■湯	共水を河川内で安全に流す対策										
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	>									
	■允	6機管理型ハード対策										
		・堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強	٧									
	■i											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A									
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М									
		③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 検討										

Г						進捗状況				首	
項	目事項	内容	課題の 対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定						その他(実施にあたっての 問題点等)
			, ,,,			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	问题点寸/
2)		<mark>水害に対し、迅速・確実な避難行動</mark> 報伝達、避難計画等に関する事項	のための	取組							
		報伝達、避難計画等に関する事項 ①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D	・避難勧告型タイムラインについてはH 29年4月に作成済み。	①必要に応じて見直しを実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R3以降に住民による作成サポート 計画を立案予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
		④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	К	要配慮者利用施設を確認した。(5カ	①今後、地域防災計画に位置づけた 要配慮者利用施設において避難確保 計画策定予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	К		①R3~4年度は高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。 ②R5年度以降は、避難計画を作成し、避難訓練を実施予定。(必要に応じて更新予定)						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G, H, K	・「災害時等における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定」に基づく相互応援について近隣市町村との協議検討(継続中)。	①引き続き広域避難計画に関する検討 ②引き続き「災害時等における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定」に基づく相互応援について近隣市町村との協議検討。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリア メール、コミュニティーFM等の様々 な情報伝達手段による情報発信を 実施(手段の整備含む)(多言語化 対応含む)	H, I, J	・住民向け登録制災害メール等を整備 した。	①登録者数を増やす。						

		AND LIGHT TO A THE									
項目	事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況	1	r	その他(実施にあたっての
	T-74	772	対応		7 5000 400 7 72	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
2) 大		水害に対し、迅速・確実な避難行動							•	•	
		時からの住民等への周知・教育・訓	東に関する	事項							
		①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家									
		屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公	F, J								
		表 (多言語化対応含む)									
		②想定最大規模の洪水に係る浸		 ・想定最大規模のハザードマップを作	 ①毎年記載内容を確認し、必要に応じ						
		水想定区域図に基づいたハザード		成し、R2年4月に住民に配布した。	て更新を検討する。						
		マップの作成と周知(多言語化対 応含む)									
			G, J								
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸			①毎年記載内容を確認し、必要に応じ						
		水想定区域図に基づいたハザード マッ		成、周知済み(R元年度)	て更新を検討する。						
		プの活用促進(多言語化、まるごと	G, J								
		まちごとハザードマップ作成、3Dハ ザードマップの作成)	G, U								
		1 1 1 1 2 2 11 122									
		(A)									
		④小中学生を中心とした天塩川の 洪水の特徴を踏まえた防災教育の		・小中学校を対象とした地震の シェイ クアウト」への参加の推進や洪水等を	①関係機関と連携し、引き続き実施に 向け検討。						
		実施(防災教育への積極的な関わ		踏まえた防災訓練を学校等と連携しな	1.3.7 12.110						
		り(防災教育素材の共有))	Α	がら検討。							
			^								
		5関係機関及び、住民等を対象と		・関係機関と連携し、水防研修会の実							
		した災害図上訓練(DIG訓練)等、 水防災に関する訓練・講習会の開	A,E,R	施(R1)や、他自治体主催の避難訓練 に参加。	(②)他目治体王惟の防災関係惟し等に 参加。						
		催	A, E, R		③水害避難訓練の実施を検討。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意		・水防期間を中心にポスター等の掲	①引き続きポスター掲示、広報誌への						
		識啓発のための広報の充実(多言 語化対応含む)	I, J	示、住民回覧による啓発。	掲載、住民回覧での周知を予定。						
		品化对心含色/	1, 0								
		⑦ハザードマップ作製の対象外と		・対象地域の洗い出し。	①影響のある地域については、ハザー						
				「· 刈 永 地 域 の 流 い 面 し 。	ドマップを見直す際に対象地域に加え						
					る予定。						
			F								
			•								

_											昔威子府村
雷	事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定			進捗状況			その他(実施にあたっての
75.1	7	. rit	対応	れるようの表情は大力	7後38.4072	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
3)		2濫被害軽減のための的確な水防活									
	■力	<防活動の効率化及び水防体制の強位	化に関する								
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施		・毎年出水期前に河川管理者や関係機関と重要水防箇所等の共同点検を 実施した。	①引き続き、毎年出水期前に河川管理者や関係機関と重要水防箇所等の 共同点検を実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	策職員研修に参加した。	引き続き ①天塩川流域圏会議での豪雨災害対 策職員研修に参加予定。 ②関係機関主催の勉強会に参加予 定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q,U	・水防連絡協議会や減災対策部会等 において情報交換や情報共有を図った。	引き続き ①天塩川流域圏会議等で取りまとられ た情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報交換及び共 有を予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力 団体の募集・指定の促進を図る	L	・ポスター掲示などで募集(消防団)周知を行った。	①引き続きポスター掲示などで募集 (消防団)周知を予定。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員 の拡充を図る	R	・ポスターの掲示などで消防(水防)団 員の募集を実施。	・引き続きポスターの掲示などで消防 (水防)団員の募集を実施予定。						
	■ #	┃ ラ町村庁舎や災害拠点病院等の自衛	水味の性	#に関する東西 #に関する東西							
	■ 17	1回付け舌や火舌拠点病院等の目倒 ①浸水想定区域内の拠点施設に 対する水害リスクを把握し、機能維 持に関する検討を実施		正に関する事場 ・重要公共施設の機能維持のための 電源確保等の効果的な対応の検討を 実施した。	①重要施設(役場庁舎)の機能維持を 検討し、具体な対策を講じる予定。						
4.	±m -1- +4	*** 以外人のラエシュロ 物作にった	4 A Br 40								
4)		<mark>機能や社会経済活動の早期復旧のた</mark> 2濫水の排水、施設運用等に関する取									
	7.5	①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認		・減災対策部会などで、排水ポンプ車 の出動要請方法を確認した。	①引き続き減災対策部会などで、排水 ポンプ車の出動要請方法を確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	т	・河川管理者と連携し、河川管理者所 有の排水ポンプ車の操作訓練を検討。							
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)		・内水被害箇所(注意箇所)の確認を 合同巡視により実施し、釜揚げ場の現 状について情報共有を図った。	①引き続き内水被害箇所(注意箇所) の確認を実施し、情報共有を図る。						40

TE	目事項	内容	課題の	R2までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況				その他(実施にあたっての				
			対応		→後3か平の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
1	<u>ハー</u> ト	対策の主な取組				•								
	■ 2	共水を河川内で安全に流す対策												
		・河道掘削・河道内伐木・堤防整備(質的整備含む)・構造物改築	٧											
	■f	色機管理型ハード対策				•								
		・堤防天端の保護・堤防裏法尻の補強	٧											
	■i	************************************												
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築												
		②円滑な避難活動や水防活動を 支援するため、簡易水位計や量水 標、CCTVカメラの設置	М											
		③迅速な水防活動に資するための 水防拠点整備や、洪水の長期化に 備えた水防資機材の整備について 検討	Q											

	 内容	課題の	D0+	A#54.50 8 0				 その他(実施にあたっての		
事項	N谷 	対応	R2までの取組状況	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	問題点等)
規模	」 <mark> 東水害に対し、迅速・確実な避難行動</mark>	のための	取組							
■情	「報伝達、避難計画等に関する事項									
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B, C, D	・H28年4月作成のタイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を継続実施予定であったが実施に至っていない。	・R3年度以降に実施予定の防災計画 見直しに併せてタイムラインの見直し を実施予定。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	_	・R3年度以降に実施予定の防災計画 見直しに併せてタイムラインの見直し を実施予定。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
	③わかりやすい洪水予報伝文への 改良を行う	A, N								
	④避難行動要支援者の避難支援 体制の構築及び避難訓練の実施 (要配慮者利用施設)	К	・要援護者名簿を調製する福祉部署と連携した支援体制の構築を図るとともに、平成29年度以降に町内会及び自治会の協力により避難訓練計画を策定する。 【平成29年度から検討・実施】	・R3年度以降に実施予定の防災計画 見直しに併せて、改めて避難行動要支 援者の避難支援体制の確認・見直しを 実施予定。 避難訓練においても適宜実施予定						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	К	_	・R3年度以降に実施予定の防災計画 見直しに併せて、改めて避難行動要支 援者の避難支援体制の確認・見直しを 実施予定。						 防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた 避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G, H, K		・天塩川の洪水浸水想定区域等が変更されることや、R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに合わせて改めて避難方法・避難場所の確認を実施予定。 有効な広域避難については今後近隣自治体の動向を踏まえながら意見交						防災担当職員の人員不足により、各種事業実施に課題が生じている
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H, I, J	・TV電話(IP告知端末器)、エリアメール及び町HPによる情報発信を強化するとともに、文字情報の音声読み上げ等高齢者等にわかりやすい情報伝達手段を検討。	機を実施予定。具体的な広域避難に ・TV電話(IP告知端末器)、エリアメール及び町HPによる情報発信を強化する。 多言語化については、今後検討する。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている

目事項	 内容	課題の	R2までの取組状況	人後5か左の 圣中				 その他(実施にあたっての		
争坝	1 2000	対応		今後5か年の予定 	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	日日 昭二上 4本 /
	其水害に対し、迅速・確実な避難行動				l				l	
■平	時からの住民等への周知・教育・訓		5事項							
	①想定最大規模も含めた浸水想定 区域図、浸水シミュレーション、家 屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公 表 (多言語化対応含む)	F, J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G, J	検討・作成を行う。	・天塩川の洪水浸水想定区域等の変更や、北海道が管理する河川において公表されている浸水想定区域を考慮したハザードマップの作成を、R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに合わせて行う予定。多言語化については今後検討を行う。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G, J								
	④小中学生を中心とした天塩川の 洪水の特徴を踏まえた防災教育の 実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	Α	・名寄河川事務所と連携し、小中学校を対象とした水防学習会や出前講座 等による防災教育を実施予定であったが、都合により中止となる。	・名寄河川事務所と連携し、小中学校を対象とした水防学習会や出前講座 等による防災教育を定期的に実施予定。令和3年度については実施を検討。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
	⑤関係機関及び、住民等を対象と した災害図上訓練(DIG訓練)等、 水防災に関する訓練・講習会の開 催	A, E, R		・天塩川の洪水浸水想定区域等の変更や、R3年度以降に実施予定の防災計画見直しに合わせて、実施を検討する。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意 識啓発のための広報の充実(多言 語化対応含む)	I, J		・天塩川の洪水浸水想定区域等の変 更や、R3年度以降に実施予定の防災 計画見直しに合わせて、実施を検討す る。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	G, J	・対象外となっている地区を把握した。	・対象外となっている地区の住民を対象に説明会を実施予定。						

			課題の	10					その他(実施にあたっての		
項目	事項	内容	対応	R2までの取組状況 	今後5か年の予定	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3)洪	水氾	濫被害軽減のための的確な水防活	動に関す	る取組							
	■水	防活動の効率化及び水防体制の強化	化に関する								
		①毎年、重要水防箇所の見直しを 実施するとともに、関係機関・水防 団等が参加する水害リスクの高い 箇所の共同点検を実施	0 、 P	毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同巡視を継続実施予定。	毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同巡視を継続実施予定。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A		・滅災対策協議会や、近隣自治体が実施する防災訓練、治水促進期成会による豪雨災害対策職員研修に参加						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
		③流域市町村の防災担当者、水防 資機材等の情報共有を行う	Q,U	・上川町村会事務局が主催する上川 管内防災担当者会議において情報共 有を行う。 ・水防連絡協議会等において定期的に 情報共有を行う。	・上川町村会事務局が主催する上川 管内防災担当者会議において情報共 有を行う。 ・水防連絡協議会等において定期的に 情報共有を行う。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やホームページ等で水防協力 団体の募集を実施。	・広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
		⑤広報誌やHP等により、水防団員 の拡充を図る	R	・中川消防支署との連携により広報誌 やホームページ等で水防団員の募集 を継続していく。	・中川消防支署との連携により広報誌 やホームページ等で水防団員の募集 を継続していく。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
-	■市	 町村庁舎や災害拠点病院等の自衛	水防の推	 准に関する車項							
		①浸水想定区域内の拠点施設に 対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成 水に係る浸水想定区域公共施設合成 図情報等を踏まえ、該当施設及び水害 リスクを把握し、効果的な対応を検討 する。							防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
4)都	市機	能や社会経済活動の早期復旧のた	めの取組								
		濫水の排水、施設運用等に関する取									
		①排水ポンプ車等の災害対策車の 出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等で方法等の確認を実施。	・滅災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、 排水ポンプ車等の操作訓練を行う	Т	・河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。	・河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練の実施を検討。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、 効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の 整備(排水作業準備計画の更新、 点検の実施)	Т		・R3年度以降に内水被害常襲箇所の 把握と、効果的な排水を行うための排 水ポンプ設置箇所の検討を河川管理 者と連携しながら実施。						防災担当職員の人員不足 により、各種事業実施に課 題が生じている